

広報 No.264

KOHO OGIMI 2017年3月1日



おおぎみ

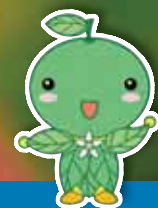
大宜味



コノハチョウ



ツマベニチョウ



村の思い 蝶の飛び立ち 待ち合わせ

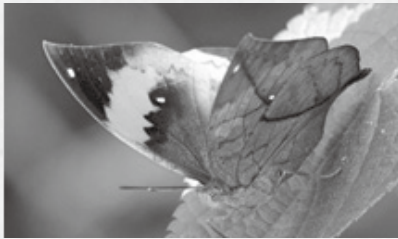
大宜味村の蝶々の制定: 2月22日
写真提供: 大宜味村生物多様性センター運営協議会

大宜味村の蝶々の制定

2月22日、大宜味村の蝶々として「コノハチョウ」、「ツマベニチョウ」が制定されました。本村では、昭和62年に村の木「シークワサー」、村の花「シークワサー」、村の鳥「メジロ」が制定されており、新たに村の蝶々が仲間入りすることになります。

本村は豊かな自然環境に恵まれていることで、昨年9月15日にやんばる国立公園の地域として指定され、今後、世界自然遺産登録に向けて環境省を中心にその取り組みが着々と進められております。その環境を守ってきた先人達に感謝の意を表すとともに、生物多様性という観点からその自然環境保全とエコツーリズムによる地域振興に期待して大宜味村の蝶々を制定しております。宮城功光村長は「以前から屋古のチョウの研究が積極的に取り組まれてきていた。昨年9月のやんばる国立公園指定もあり、子ども達の自然に関する興味を村民の方々にも身近に感じて頂き、自然環境と人のライフスタイルが密接に関係があることを繋げるきっかけになってほしい。」と話していました。

「コノハチョウ」の選定理由



沖縄県指定天然記念物(1969年)にも指定されており、準絶滅危惧種(環境省レッドリスト)でもあることから、保全の必要性があり、自然環境保全の観点から選定に値するものである。また、翅(裏側)の模様が枯葉に似るため擬態の特徴と、翅を広げた表側は色鮮やかであり、見る者を魅了する。食草として、幼虫期は自然度の高い、大宜味の森にも自生するオキナワズムシソウを食草とし、成虫になると村木であるシークワサーの樹液を好むため、村の特性と合致した種である。

「ツマベニチョウ」の選定理由



九州からアジアにかけて多く分布するチョウで、沖縄各地で個体数が多く見られ、本村においても一年中見ることが出来る種である。「幸せを呼ぶチョウ」とも言われており、また、南国の風景に存在するブツソウゲに飛来する姿が多く見られ、村内においても様々なところで見ることが出来ることから観光振興、エコツーリズムの波及に寄与される見た目にも美しい蝶である。

表記方法 蝶の由来が「てふてふ」→「蝶々」(ちょうちょう)であり、童謡の「ちょうちょう」などで親しみやすい呼び方でもあること、本件に選定された「蝶」も2種を選定することに意味を込めて「蝶々」(ちょうちょう)とする。

制定の経緯

平成28年7月 「大宜味村の蝶」制定について提案・検討
平成29年1月 児童・生徒(屋古のチョウ研究関係者)へアンケート
有識者(大宜味村生物多様性センター)への意見照会
2月 選定委員会(おおきみツーリズム推進協議会)
2月 6日 答申
2月22日 告示



屋古のチョウの研究活動の風景

健康運動教室

村民が運動に取り組みやすい環境づくりや、村民の健康に対する意識向上を目的とし、平成28年8月より、名桜大学学生との協力を得ながら、月1回の健康運動教室(ジョイビートで楽しく健康づくり)を開催してきました。参加された方からは、「座りながら映像を見て体を動かせたので、楽しく汗を流すことができた。やさしいリズムで合わせやすく、終わった後は体も心もスッキリした。」と話してくれました。2月までの参加者は52名となっています。今年度最後の健康運動教室は下記日程となっています。多くの方のご参加をお待ちしています。

3月17日(金) 旧大宜味小学校体育館 午後5時30分～



官報告示「大宜味村役場旧庁舎」重要文化財(建造物)指定!

昨年10月21日に国の文化審議会から文部科学大臣に国指定重要文化財(建造物)に指定するよう答申された「大宜味村役場旧庁舎」が平成29年2月23日発刊の官報に文部科学大臣から指定することが告示され、正式な指定となりました。

大宜味村役場旧庁舎は沖縄県内では最初期の鉄筋コンクリート建築で、現存する最も古い建物

です。役場庁舎としては全国的にも先駆的な事例であることや沖縄県における鉄筋コンクリート造建築の普及発展を理解するうえで、高い価値を有していることが指定の理由です。今後もより長く旧庁舎が保存・活用されるように国や県との連携を密にして村全体でこの宝物を大切に守っていきたいと考えています。



交流は地域づくり

「体験の翼」の団員16名(大宜味小学生13名、中学生3名)と村長、引率者などが2月10日から13日までの4日間、福島県西会津町を訪問しました。初日の歓迎式・対面式では、今回が初となる歓迎の郷土芸能(太鼓と笛の演奏と踊り)が披露されました。その後、団員達は西会津町でパートナーとなった家に2泊3日ホームステイし、わかさぎ釣りや郷土料理のこづゆ、馬刺し、そばなど福島の味を堪能しました。3日目は第27回目となる西会津雪国まつりのオープニングセレモニーにおいて、村のエイサー演舞が披露され、華やかに盛り上げました。まつりでは村長から「西会津町との交流は子ども達にとって新鮮で刺激的な経験となり、自らの世界を広げるきっかけとなっている。今後は青年会や商工会などと交流を深めていき、お互いによりよい地域づくりに励みたい。」と力強いあいさつがありました。



日常生活の「できる」をつなぐ

平成28年4月から毎週水曜日、理学療法士のPTハート(代表者:宮城健次)と大宜味村包括支援センター職員が主体となり、介護予防・日常生活支援総合事業(短期集中予防サービス)が村内の公民館において実施されています。

この事業は、地域においてリハビリテーション専門職等活かした高齢者の自立支援に資する取組みを実施し、個別運動指導による運動機能の向上を図り、自立した生活が送れるようにすることを目的としています。1回あたり8名を限度とし、始めに1対1のリハビリを30分、その後60分は貼り絵や塗り絵などのレクリエーションを行います。参加者からは「日常生活で思うように出来にくくなったことを相談しながら続けることで動きやすくなった。普段できないコミュニケーションも楽しみにしている。」と話してくれました。短期集中予防サービスには、これまで約40名の方が参加しています。



村職員の給与状況

地方公務員の給与については、国家公務員の給与を基準として、村議会において予算及び給与条例の審議により定めることになってはいますが、村民の皆様にご理解とご協力をいただくためその内容をお知らせ致します。

沖縄県とは県職員のことです。

1. 人件費の状況（一般会計決算）

区分	住民基本台帳人口 (3月末)	歳出額 (千円)	実質収支 (千円)	人件費 (千円)	人件費率 (%)	前年度人件費率 (%)
平成27年度	3,156人	5,153,332	397,424	628,301	12.2	15.3

※人件費には、議員報酬、各種委員報酬、特別職給与、職員給、共済組合等負担金、退職金、恩給、災害補償費等が含まれています。

2. 職員給与費の状況（一般会計）

平成27年度決算における人件費の内給与費は次の通りです。

区分	給与費	給与費				1人当たり 給与費
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計	
平成27年度	71人	246,757千円	22,040千円	91,460千円	360,257千円	5,074千円

3. 職員の平均給料月額及び平均年齢の状況（平成28年4月1日現在）

	一般行政職		現業職	
	平均給料月額	平均年齢	平均給料月額	平均年齢
大宜味村	265,300円	36歳7月	289,100円	50歳3月
沖縄県	308,200円	40歳8月	351,200円	53歳2月



4. 職員の初任給の状況（平成28年4月1日現在）

区分		大宜味村	沖縄県
		初任給(円)	初任給(円)
一般行政職	大学卒	176,700円	176,700円
	高校卒	144,600円	144,600円
医療職	大学卒	206,300円	206,300円
現業職	高校卒	142,000円	142,000円

5. 特別職の報酬等状況（平成28年4月1日現在）

区分	月額	期末手当支給割合	
		給	料
給料	村長	720,000円	6月1.50月分
	副村長	584,000円	12月1.65月分
	教育長	548,000円	(計)3.15月分
報酬	議長	263,000円	6月1.50月分
	副議長	218,000円	12月1.65月分
	常任委員長	211,000円	(計)3.15月分
	議員	203,000円	

6. 期末・勤勉手当の状況 (平成28年4月1日現在)

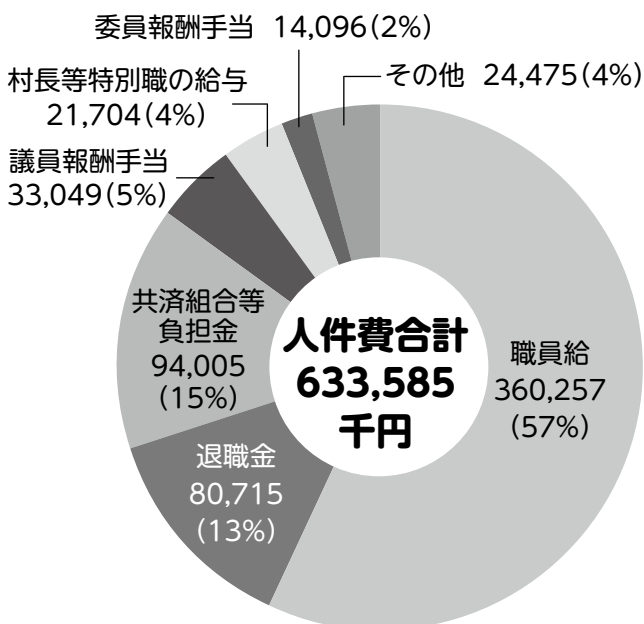
区分	大宜味村			沖縄県		
	期末手当	勤勉手当	計	期末手当	勤勉手当	計
6月期	1.225 月分	0.8 月分	2.025 月分	1.225 月分	0.8 月分	2.025 月分
12月期	1.375 月分	0.8 月分	2.175 月分	1.375 月分	0.8 月分	2.175 月分
計	2.6 月分	1.6 月分	4.2 月分	2.6 月分	1.6 月分	4.2 月分

7. 級別職員数 (平成28年4月1日現在)

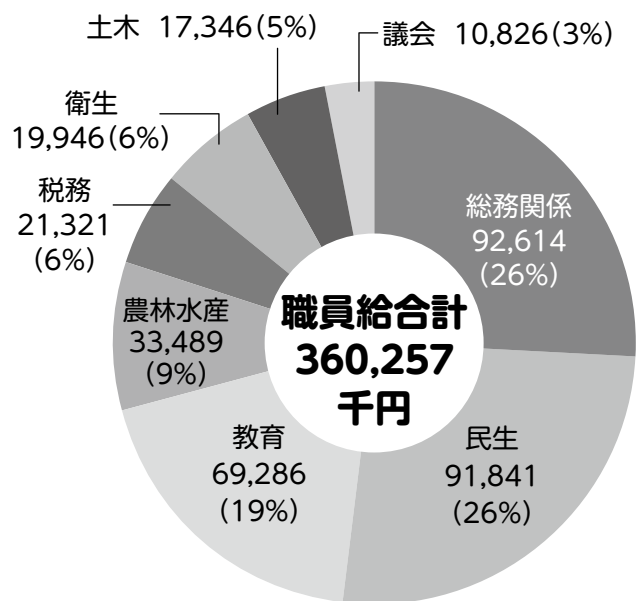
一般行政職			医療職			現業職		
級	職員数 (人)	構成比 (%)	級	職員数 (人)	構成比 (%)	級	職員数 (人)	構成比 (%)
1	19	28	1			1		
2	8	12	2			2		
3	17	25	3	1	100	3	4	100
4	13	19	4			4		
5	3	4	5			5		
6	7	10	6			6		
計	67	100.0	計	1	100.0	計	4	100.0

8. 部門別一般職員数の状況と主な増減理由 (平成28年4月1日現在)

区分 部門	職員数		対前年 増減数	主な 増減理由	
	27年度	28年度			
一般行政部門	議会	2	2	0	
	総務	19	20	1	避難路事業のため強化
	税務	4	4	0	
	福祉	18	17	-1	後継者育成後に伴う減
	衛生	5	5	0	
	農林	7	7	0	
	土木	4	4	0	
	小計	59	59	0	
特別行政	教育	13	11	-2	委託に移行した事に伴う減
	小計	13	11	-2	
公営企業等	水道	2	2	0	
	その他	1	1	0	
	小計	3	3	0	
総合計	75	73	-2		



人件費の内訳 (平成27年度決算) 単位：千円



職員給の内訳 (平成27年度決算) 単位：千円

国民健康保険被保険者証更新のお知らせ

3月は国民健康保険証の更新の時期です。下記の日程で更新を行います。
 ※保険税の納め忘れはありませんか?納め忘れのある方は更新前に納付してください。
更新期間(平成29年3月6日【月】～平成29年3月9日【木】)

場 所	月 日	時 間
1 田 嘉 里 公 民 館	平成29年3月6日(月)	09:30～10:30
2 謝 名 城 公 民 館	平成29年3月6日(月)	10:40～11:40
3 喜 如 嘉 公 民 館	平成29年3月6日(月)	13:30～15:00
4 饒 波 公 民 館	平成29年3月7日(火)	09:30～10:20
5 大 兼 久 公 民 館	平成29年3月7日(火)	10:30～11:20
6 大 宜 味 公 民 館	平成29年3月7日(火)	13:30～14:20
7 根 路 銘 公 民 館	平成29年3月7日(火)	14:30～15:20
8 上 原 公 民 館	平成29年3月7日(火)	15:30～16:00
9 塩 屋 公 民 館	平成29年3月8日(水)	09:30～11:30
10 屋 古 公 民 館	平成29年3月8日(水)	13:30～14:00
11 田 港 公 民 館	平成29年3月8日(水)	14:10～14:50
12 押 川 公 民 館	平成29年3月8日(水)	15:10～15:40
13 大 保 公 民 館	平成29年3月8日(水)	16:00～16:40
14 江 州 公 民 館	平成29年3月9日(木)	09:30～10:00
15 津 波 公 民 館	平成29年3月9日(木)	10:15～11:45
16 白 浜 公 民 館	平成29年3月9日(木)	13:30～14:00
17 宮 城 公 民 館	平成29年3月9日(木)	14:10～14:40

※ 当日、保険証の更新が出来ない場合は10日以降に役場(住民福祉課)の窓口にて交付します。
 ※ 保険証の更新は、どの公民館でも出来ます。
 ※ 更新期間中は役場での更新はできませんのでよろしくお願いいたします。

【お問い合わせ先】 大宜味村役場 住民福祉課 国保年金係 ☎ 0980-44-3003



定期報告書について

1. 対象者: 牛、水牛、鹿、馬、めん羊、山羊、豚、いのしし、鶏、あひる、うずら、きじ、だちょう、ほろほろ鳥及び七面鳥の飼養者
2. 提出書類: 定期報告書(平成29年2月1日時点の家畜の基本情報、飼養衛生管理の状況等)
3. 提出期限: 平成29年4月14日
4. 提出方法: 持参又は郵送、FAX
5. 提出先: 沖縄県北部家畜保健衛生所、市町村役場、JAおきなわ北部地区畜産振興センター

※ 該当する家畜の飼養者は毎年、定期報告の提出が法律で義務づけられており、1頭(1羽)から提出が必要になります。

【お問合せ先】 沖縄県北部家畜保健衛生所
 (〒905-0012 名護市名護4606-4)
 ☎ 0980-52-2939 FAX 0980-53-3311

シークワサー生産農家の皆様へ

平成28年度

大宜味村シークワサー振興補助金のお知らせ

大宜味村では、村内に住所を有するシークワサー生産農家を対象に、シークワサーの生産振興を目的とした、酔の物用と加工用とフルーツ用の出荷量に応じた①奨励補助金と②防除薬剤補助金を予算の範囲内で補助します。

申請を行う方は、この期間内に必要書類を役場産業振興課までご提出ください。

なお、補助金申請に必要な書類等は役場産業振興課にて配布を行っております。

記

交付対象者: 大宜味村内に住所を有し、今年度シークワサー出荷実績のある生産農家。

審査基準: シークワサーによる農業所得を申告している生産農家を対象とします。

※申告を行っていない場合は交付対象外となります。

補助金内容: ①奨励補助金 ②防除薬剤補助金

対象作物: 大宜味シークワサー(酔の物用・加工用・フルーツ用)

対象期間: 平成28年度出荷取扱分

提出書類: 役場産業振興課にて配布しています。

補助金申請期間: 平成29年3月1日(水)～3月24日(金)

【お問い合わせ・申請書提出先】 大宜味村役場 産業振興課
 ☎ 0980-44-3232 FAX 0980-44-3999

平成29年度 大宜味村国民健康保険税徴収員の募集について

1. 職種/国民健康保険税徴収員(1名)
2. 主な仕事内容/国民健康保険税の滞納整理に関すること。
3. 申し込み条件/○村内在住の方
○パソコン操作可能な方
4. 報酬月額/月額 120,000円
5. 各種保険/社会保険・雇用保険・労災保険
6. 勤務時間/
月曜日～金曜日(週5日 土・日・祭日休み)

午前8時30分～午後5時15分(午後12時～午後1時休憩時間)

7. 提出書類/○履歴書 ○納税証明書
○健康診断書

8. 募集期間/平成29年3月10日～
平成29年3月17日まで

【お問い合わせ先】
 大宜味村役場 住民福祉課 国保年金係
 ☎ 0980-44-3003 FAX 0980-44-3139

平成29年
大宜味村むらづくり
応援寄附

一月分	件数	金額
	227件	4,661,000円

県内外より本村にご寄付頂きより感謝申し上げます。
本村のふるさと納税は以下の事業に活用しております。

- ①産業の振興に関する事業
- ②保健・福祉の充実に係る事業
- ③教育・文化の振興に関する事業
- ④生活環境の整備に関する事業
- ⑤その他大宜味村を元気にする為必要な事業

満1歳お誕生日おめでとう!!

(タンカー祝い)

世界にたったひとつのスマイル!!
1歳の誕生日の子供 (3月生まれ)



れいじ
高橋 怜士くん (田嘉里)
(平成28年3月13日生)

村の人口

1月末現在

男 1,642人(+1)
女 1,524人(+3)
計 3,166人(+4)

世帯数 1,663世帯数(+1)
出産 0人 転入 18人
死亡 7人 転出 7人

※注()内数は対前月比

新緑の塩屋湾を走ろう!
第39回

塩屋湾一周トリムマラソン大会

2017年4月16日(日) AM9:10(開会式)

- ★会場/旧塩屋小学校スタート・ゴール
- ★申込期間/2月15日(水)~3月17日(金)当日消印有効
- ※追加募集の予定はありませんのでお早めにお申し込み下さい。
- ★申込方法/①スポーツエントリー(インターネット)
②Famiポート(期間中24時間申込可能)
③郵便局(払込取扱票で従来通り)から選択し申込となります。

コース	スタート	種目	参加資格	制限時間
	9:30	16.7km 大保ダム周回コース	高校生以上	2時間45分
	9:40	9km 塩屋湾一周コース	高校生以上	1時間35分
	9:45	3km 湾内折返し屋古コース	幼児(1歳以上)	1時間

- ※申込の際に別途手数料がかかります。
- ★参加料/大人2,000円
小人1,000円(高校生以下)

【お問い合わせ先】○大会事務局 〒905-1392 大宜味村字大兼久157番地
塩屋湾一周トリムマラソン大会実行委員会(大宜味村教育委員会内)
TEL 0980-44-3006 FAX 0980-44-3029

3月

March April
3月1日~4月10日

大宜味村カレンダー

1 水	◆区長会 ◆辺土名高校卒業式
2 木	◆お別れ遠足(喜保)
3 金	◆体験の翼報告会
4 土	◆生涯学習⑥
5 日	◆軽スポーツ講習会(サイクリング)
6 月	
7 火	◆お別れ遠足(塩保)
8 水	
9 木	
10 金	
11 土	◆大宜味中学校卒業式
12 日	
13 月	振替休日(大中)
14 火	◆幼稚園修了式
15 水	
16 木	◆大宜味小学校卒業式
17 金	◆大小・大中修了式及び離任式 ◆大小・大中PTSA送別会 ◆村健康運動教室(旧大小 17:30~)
18 土	
19 日	
20 月	春分の日
21 火	

22 水	
23 木	
24 金	◆大宜味小開校・大宜味中移転記録映像上映会 ◆北部地域における基幹病院の整備を求める北部12市町村住民総決起大会
25 土	
26 日	
27 月	
28 火	◆こころの健康相談(旧法務局)
29 水	◆ほのぼのパーティー(喜保、塩保)
30 木	
31 金	
4月	April
1 土	
2 日	
3 月	◆区長会 ◆海外短期留学生募集開始 ◆村体育協会評議員会
4 火	◆村学校職員辞令交付式(午後)
5 水	
6 木	
7 金	◆第14回いぎみていぐま展~9日 ◆一学期始業式・新任式(幼小中) ◆大宜味中学校入学式
8 土	
9 日	
10 月	◆大宜味小学校入学式

※このカレンダーは予定ですので、都合により変更されることがあります。各業務については電話等で確認してください。

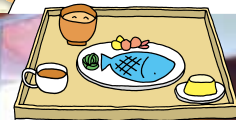


村内アレコレ



五感で「食育」

毎月の食育の日に合わせて塩屋保育所で2月21日、宮城伸子栄養士と新城あゆみ調理師により、五感で食を感じることをテーマに「食育」を行いました。この時期の子どもにとって大切なのは、食への興味を培い、おいしく楽しく食べる喜びを感じてもらうことなので、いろいろな機会に五感で食を感じてもらうことが大切です。この日は目・鼻・耳・手を使った食材当てクイズや調理体験を行い、調理後は出来たてのホットケーキの温かさや匂い、味を楽しみました。このような機会を通じ、食に親しみ、食を大切に作る気持ち、ひいては豊かな人間性をはぐくむことを目指しています。



新コース「結の浜」で駅伝大会

1月29日、第31回大宜味村駅伝競走大会が新コース(15.2km)となる「結の浜」で行われました。天気にも恵まれた今大会には謝名城、塩屋、江洲、津波区の4チームとオブザーバーの村体育協会で計5チームの参加となりました。会場は選手の熱戦と賑やかな応援で盛り上がりを見せ、初の開催地となった結の浜コースを制したのは「謝名城」チームでした。閉会式では1位から3位までのチームと各区分賞の選手へ表彰が行われました。1位：謝名城(1時間27秒)、2位：江洲(1時間2分56秒)、3位：塩屋(1時間7分5秒)



在来植物を守ろう

1月17日から21日までの5日間、田嘉里川河口から上流に向けて広がりつつある外来植物の駆除が環境省と田嘉里区民によって行われました。今回、駆除対象となった植物はとても繁殖力が強く、農地に入れば農作物にも被害を及ぼすお



▲竹林を枯らすツルヒヨドリ
それがあるツルヒヨドリ(特定外来植物)とアメリカハマグルマ(緊急対策外来種)です。これらは川沿いだけでなく付近の一部民家にまで広がっており、数カ所駆除が行われました。タケノコを採る竹林ではツルヒヨドリに覆われて竹が枯れている状況がみられました。
※この特定外来生物(ツルヒヨドリなど)は、飼育、栽培、保管や生きたままの運搬等が原則として禁止され、これらを行う場合は許可が必要になります。適切な方法で防除しないと、かえって広げてしまう可能性もあるため、駆除を検討される際はまずは、環境省へお問い合わせください。環境省やんばる野生生物保護センター「ウフギー自然館」：☎0980-50-1025

学校を見守ってきた桜の木々と観桜会

2月4日、旧大宜味村立喜如嘉小学校最後のPTAと有志メンバー主催で、「喜如嘉小学校を偲ぶ観桜会」



が行われ、子ども達や地域住民約80人が参加し、グラウンドゴルフ大会や花見を楽しみました。観桜会では獅子舞の演舞も披露され、最後に校歌と恒例の「ぎんぎんざらざら」のダンスでなごやかに行われました。観桜会は1967年から毎年行われ、子ども達や地域住民に親しまれてきた伝統行事で最後のPTA会長を務めた平良基さんからは「閉校時から桜の咲く時期に開催したいと皆で考えていた。多くの方々に参加してくれて、桜も喜んでいと思う」と感謝の気持ちを述べました。

学校と地域が一体となった活動

2月1日、辺土名高校では県教育委員会の環境教育研究校指定(平成27・28年度)の最終年度となる研究報告会を開催しました。「自然環境を大切に



する考え方と態度の育成～やんばるの豊かな自然環境での体験活動を通して～」を研究主題とした報告会では、前半に環境科3年生による課題研究発表会、後半に研究校成果報告が行われました。生徒の発表では、環境科の特色を生かした5つの発表があり、先輩から受け継ぎ数年にかけてのデータに基づき、緻密に研究された内容が報告されました。成果発表では学校全体で取り組む環境教育の実践を報告。全国自然環境サミットやフィールドワーク、環境ガイド学習などの成果と課題が話し合われました。